

利賀っ子だより



R4. 4. 27

○ 小中合同運動会に向けて

グラウンドの雪がほぼなくなり、新しい土が入れられました。いよいよ本格的にグラウンドでの活動が開始となります。

放課後、中学生が山になった土を均し、教員は、トラックのラインを引くためのポイントの計測をしたり、指揮台を運び出したりと分担して作業をしました。

下校時刻になった中学生、「先生方、あと（残り）お願いします。」とロク々に挨拶をしてグラウンドを離れていきました。「自分たちが創る運動会」という気持ちが伝わりました。

中学生が除雪、グラウンド整備と何回かに分けて作業をしたことを聞いた小学生は、「ありがたい。」「感謝して使おう。」とつぶやいていました。素敵なお気持ちの中学生と一緒に活動できることで、小学生の心も耕されています。

小・中全員で石拾い、除草等の作業も行い、グラウンドを整えていく予定です。



【グラウンドを整備する中学生】



【昼休みに練習する小中学生】

昼休み、小中の代表者が開閉会式の練習をしていました。皆が休み時間を楽しんでいるときに・・・と思う気持ちがあるのかなと、「休み時間なのにありがとう。」と声をかけると、「みんなの代表だから。代表っていうのはそんなことも覚悟すること」と6年生。自分の役割を自覚し、責任をもってやり遂げようとする強い意志を感じました。

こんなやり取りを聞いていた低学年の代表の子供たち。きっと自分たちもその役割を果たそうと思ったにちがいません。

一人一人に役割がある環境で育つ子供たち、気持ちの持ち方も学んでいます。

(高田 公美)